

3年生総合的な学習の時間「主権者教育」

教育研究部

10月21日(水)、3年生の「総合的な学習の時間」において「主権者教育」を行いました。本校の「総合的な学習の時間」では、1・2年次に地域課題に関する探究活動を行い3年次に活動の成果をレポートにまとめています。その後、現実社会の諸課題について考察する基盤となる学習を行っています。今回は、その一環として、出雲市選挙管理委員会にご協力いただき、選挙についての出前授業を受け、模擬演説、模擬投票を行いました。例年であれば、有朋館だけの開催ですが、今年度は新型コロナウイルスへの対応から、Web会議システムを利用し有朋館での講義を各教室にライブ配信して実施しました。

実施後、生徒からは「実際に模擬投票や政策などを聞いて、漠然としていた政治や憲法のことや、自分事であり周りの人の人生を支えるものだと実感でき、一票の権利を真剣にとらえようと思った。」「マニフェストだけでなく、党首の演説も重要な判断材料になることが分かった。」「選挙のイメージが変わった。選挙があればしっかり投票しようと思う。」などの感想がありました。また、ライブ配信という慣れない環境でしたが、生徒の感想を読んでいると会場による差がなく、充実した学習となりました。

《当日の様子》

[有朋館での講義の様子]



[教室での講義の様子]



[有朋館での演説の様子]



[教室での演説の様子]



[教室での話し合いの様子]



[有朋館での開票の様子]

